

氏名 04GTA-05 前田 淳

研究題目名 影をヒントとした奥行きグラデーションの研究

指導教授 上和田 茂

蛍光灯の普及やまばゆいばかりの夜間の照明により私たちは影の世界を失っている。影とは光と共になり物体に立体感をあたえ空間に感動とリズムを与える、しかし物体がどんな厚さをもつていようと、それを平面で処理してしまう、つまり三次元の世界を二次元に変えてしまう力をもっている。

私たち祖先が描いた絵画に影を描いていないことから影に力を感じていたこと、影絵遊びから影の存在に魅了されていたこと、そしてアジア各国には多くの影絵の文化が存在することを考察し、現代に「影の文化」を復活させることのヒントとした。

そこで福岡という土地性からアジアの影絵文化を知るため、建築によってできる一年で一度しかできない影や、連続して変化する影を感じるための『影見の美術館』を設計する。